

総合計画市民検討協議会 第4回報告書（都市基盤・産業部会）

記録者	吉岡 知洋	場所	市役所北庁舎第 1～3 会議室	
開催日時	平成24年3月10日（土） 午前9時30分～正午			
出席者 (13名)	明石 光子	足立 和代	市川 純一	大室 元
	齊藤 秀雄	増田 英一	森田 敏雄	山田 和夫
	山田 政明			
	後藤 直樹	曾田 昇吾	山田 敦	吉岡 知洋
傍聴者	2名（ ）			

基本目標	IV にぎわいと魅力のあるまちづくり
基本施策	2 まちの整備
めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)	
<p>(市民を主語にすると考えやすい ※計画の推進にあたっては一部該当せず)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 誰もが安心して住めて、魅力のあるまち ◆ 古くから住む人と、新しくきた人が共に語り、ふれ合うまち ◆ 市外から見ても、歴史、文化、産業の魅力の満ちあふれたまち 	
主な課題	
<p>(めざすまちの姿と現状のギャップを埋めるために必要なことを課題と捉えると考えやすい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 駅周辺における、商業によるにぎわいの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が多い駅（分倍河原、北府中、武蔵野台、白糸台など）にも関わらず、商業施設などのにぎわいが不足している。 ・ 府中駅は活気があるが、町田、八王子、立川などと比べると、にぎわいが不足している。 ○ 既存の文化・歴史を活かしたまちづくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市職員と市民ともに、市の魅力を知らない。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 魅力を再学習、発見する。 ⇒ 情報を発信していくことで、魅力を伝えていく。 ・ 観光で訪れた人に対して、交通機関（駅、バス停）から、観光資産までの経路が分かりにくい。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 交通拠点（駅、バス停、交差点）、観光資産、商業施設のネットワークを図り、サイン表示を充実させる。また、主要駅間の商業的ネットワーク化。 ・ 市の各部署における、市の魅力を創出するための施策の不足。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 支援事業の検討。 	

○ **新たな商業・文化を活かしたまちづくりの推進**

- ・ 市の内外の人にとって、魅力のある施設が不足している。
⇒ カフェの充実など、人が自然と集う施設の積極的な誘致。
- ・ あらたな文化の創出及び活用したまちづくりができていない。
⇒ 府中にゆかりのある顕著な人材（浦沢直樹 氏等）と協力した、漫画、アニメ、小説などのサブカルチャーの活用。

○ **民間建築計画の適切な誘導**

- ・ 文化的な資産に対して、意匠や形態への配慮がされている建築物が少ない。
- ・ 中高層建築物の、ビル風対策が不足している。
- ・ 低層住宅に比べ、中高層の建築物が増えすぎている。
- ・ 農地の宅地化の進展に伴い、中高層建築物が増えることが想定される。
⇒ 宅地への転用時に、自然を盛り込むモデル事業をしたらどうか。（環境共生型開発事業の誘導）

○ **まちづくりにおける市民意識の啓発**

- ・ まちづくりに関する、自発的な学習、検討、提案する体制ができていない。
⇒ 公共施設及び民間施設（競馬場等）を利用し、市民がまちづくりについて語り触れ合える機会をつくる。

○ **あらたなごみ収集に係る、適切なまち並みの確保**

- ・ ゴミの戸別収集化に伴い、沿道のごみが目立つようになった。
⇒ 狭あい道路などでは、一定の住戸での集団の置場の確保等など、集約化対策を行う。

役割分担の考え方

【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと

- ・ 意識を高め、市民同士、企業及び行政の連携を行う。
- ・ 住みよいまちづくりのため、みんなで目標を共有し、意識を高める。

【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと

- ・ 勉強会への講師や職員の派遣、会議室等の施設の提供などの支援。
- ・ 情報を市の内外に広く発信する。
- ・ 他の行政機関及び企業との連携を推進する。

その他 提案事項

（指標のアイデア、事業のアイデアなどの提案など。）

- ・ くらやみ祭りなどの地域のイベントに、新しく住み始めた市民が参加しづらい。
- ・ 市内ではなく、市外に対してイベントを開催し、府中の魅力をアピールする。

事務局への連絡事項

総合計画市民検討協議会 第4回報告書（都市基盤・産業部会）

記録者	吉岡 知洋	場所	市役所北庁舎第 1～3 会議室		
開催日時	平成24年3月10日（土） 午前9時30分 ～ 正午				
出席者 （13名）	明石 光子	足立 和代	市川 純一	大室 元	
	齊藤 秀雄	増田 英一	森田 敏雄	山田 和夫	
	山田 政明				
	後藤 直樹	曾田 昇吾	山田 敦	吉岡 知洋	
傍聴者	2名（ ）				

基本目標	IV にぎわいと魅力のあるまちづくり
基本施策	4 公共交通の利便性の向上
めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)	
<p>(市民を主語にすると考えやすい ※計画の推進にあたっては一部該当せず)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市内移動の利便性を高めるだけでなく、市外の駅、商業施設へのネットワーク化。 ◆ コミュニティーバスについて、民間への役割の転換も考えていく（協働などによる） 	
主な課題	
<p>(めざすまちの姿と現状のギャップを埋めるために必要なことを課題と捉えると考えやすい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光の手段としての交通整備不足 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光施設を周るような交通ネットワークを創設する。 ○ 交通の利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ ちゅうバスの運行時間の短さ及び将来の行政の財政負担増加を考慮し、ちゅうバス路線の民間路線バス化が必要である ・ 交通の案内表示の多言語化が不十分である。 ・ 市内だけでなく、周辺地域のコミュニティーバスとの相互乗り入れの検討。 ・ 駅前広場、バス停周辺のバリアフリー化の推進。 ・ 鉄道、バス、タクシー業者（以下、「交通事業者」という。）と行政の連携。 	
役割分担の考え方	
<p>【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通公共負荷の低減を認識し、個人の移動手段を見直す。（車からの自転車、自転車からの徒歩、時間差通勤など） ・ 市民同士、企業及び行政との継続的な連携を図る。 	

【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと

- ・ 交通施設、通路等の整備、バス路線の経路等について、交通事業者、企業との連携を推進する。
- ・ 利便性の向上だけではなく、観光等、様々な目的からの交通施策を考える。

その他 提案事項

(指標のアイデア、事業のアイデアなどの提案など。)

事務局への連絡事項

- ・ 府中市及び他市のコミュニティーバスの収支及び乗車率について教えてほしい。

総合計画市民検討協議会 第4回報告書（都市基盤・産業部会）

記録者	吉岡 知洋	場所	市役所北庁舎第 1～3 会議室	
開催日時	平成24年3月10日（土） 午前9時30分～正午			
出席者 (13名)	明石 光子	足立 和代	市川 純一	大室 元
	齊藤 秀雄	増田 英一	森田 敏雄	山田 和夫
	山田 政明			
	後藤 直樹	曾田 昇吾	山田 敦	吉岡 知洋
傍聴者	2名（ ）			

基本目標	IV にぎわいと魅力のあるまちづくり
基本施策	5 道路等の整備
めざすまちの姿(平成33年のまちの姿)	
<p>(市民を主語にすると考えやすい ※計画の推進にあたっては一部該当せず)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 環境を考慮した道路の整備及び保全 ◆ 交通量に応じた、適切な道路計画の検討と整備 ◆ 交通に支障となる、工作物（電柱、標識等）の整備。（電線類の地中化、移設） ◆ 自然環境に配慮した、道路の構造検討。 	
主な課題	
<p>(めざすまちの姿と現状のギャップを埋めるために必要なことを課題と捉えると考えやすい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 環境及び景観を配慮した道路の整備・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの戸別収集により、道路上にゴミがあふれる景観となってしまった。 ⇒ ゴミの集積所などを確保する。 ・ 雨水処理について、汚水との分流化が不十分であり、多雨時の多摩川の汚染されているため、下水道事業において、汚水と雨水を完全に分流するべきである。 ・ 頻発する集中豪雨による、急激な河川（多摩川）の水位上昇がたびたびあり、洪水災害のおそれがあるため、道路及び宅地において雨水浸透設備の設置を推進などの対策を講じるべきである。 ○ 交通の安全性の確保の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行者と自転車の分離が不十分である。 ・ 観光と含めた道路の整備が不十分である。 	
役割分担の考え方	
<p>【市民の役割】将来像の実現に向けて自分たち市民ができること、取り組むべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路が安全に利用できるよう、利用の仕方を考慮する。 ・ 市民同士、企業及び行政の継続的連携を行う。 	

【行政の役割】自分たちの取り組みを実現するために行政に支援してもらいたいこと、行政が行うべきこと

- ・ 市民、企業及び隣接する行政との連携を図った整備及び保全を進める。

その他 提案事項

(指標のアイデア、事業のアイデアなどの提案など。)

事務局への連絡事項